

## 甘酒のルーツ？ 酒釀(ジョウニャン)

上海駐在員事務所

舛本 誉人

「ニーハオ！」 今回は日本の甘酒のルーツかも知れない中国のデザート「酒釀（ジョウニャン）」についてご紹介します。

酒釀（ジョウニャン）は、ここ上海においても多くの上海料理レストランで、白玉入りのデザートとして名を連ね、値段はレストラン価格で1杯約16元（270円）程度、ネット販売価格（白玉無し）は1リットル約23元（400円弱）程度と、ごく一般的な国民的な食べ物です。

この酒釀（ジョウニャン）、米を米麴の酵素で糖化させているのでカテゴリとしては発酵食品になります。よく日本においても発酵食品は健康に良いものと言われていますが、それは中国においても同様で、国民の間では酒釀（ジョウニャン）をはじめとした発酵食品は広く健康食品として認識されています。また、中国政府も国民の健康維持における重点課題を治療から予防に置くとした「予防医学」を国民に対して推奨しており、慢性疾患（糖尿病、高血圧、脳卒中等）の予防や、インフルエンザウィルス等への免疫力強化に効果があるとされる健康食品ニーズはますます高まりを見せ、現在その市場規模は年率30%以上の急速拡大を見せている状況にあります。

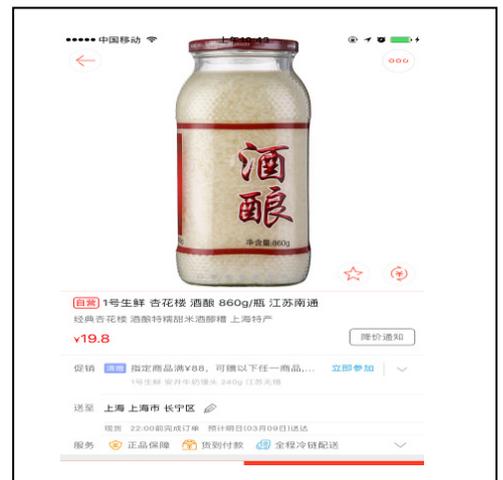
酒釀（ジョウニャン）



筆者撮影

一方で、こうした健康食品ブームの裏では、中国ならではの問題として、「食品偽装」や「誇大表示広告」が存在しています。ここ最近では中国当局による取締りが強化されてきているとはいえ、その一例としてはシルデナフィル（通称バイアグラ）のような薬品成分が混入された精力増強健康酒が店頭で販売されていた事件（実際には食品薬品監督総局の調査により、酒造元のラベルが付いた空き瓶を悪用した何者かの食品偽装詐欺として決着）があったり、PM2.5を99.9%通さないとするマスクが実際に広告されていたり（誇大表示広告詐欺として製造販売会社へ多額の罰金支払命令が出され決着）と、中国国民を失望させ不信感を根付かせる事件が未だ数多くあるのが実状であります。

酒釀（ジョウニャン）のネット販売画面



筆者撮影

酒釀（ジョウニャン）がかつて中国から日本へ伝来し、その後日本で甘酒へと進化したのであれば、今こそ、甘酒のルーツたる中国健康食品市場においてビジネスチャンスがあるのではないのでしょうか。日本食の安心安全なイメージ感は中国市場における強力な武器となります。

今後の健康食品ニーズの動向から目が離せません。